

平成26年2月25日

教 育 振 興 課

平成26年度当初予算について

(百万円)

	25年度	26年度	前年比増減	備 考
県一般会計予算額	477,068	482,258	5,190	
教育庁予算額	80,989	87,139	6,150	
教職員人件費	72,199	71,729	△470	8,181人→8,157人
その他	8,790	15,410	6,620	県有体育施設整備 3,800百万円増

【維持管理経費（主なもの）】

教育委員会費	11百万
学校管理費	2,511百万
県立学校教員旅費	167百万
非常勤職員人件費	806百万
教育研究所管理費	69百万
特別支援扶助費	150百万
文書館管理費	60百万
図書館資料整備費	38百万
図書館管理費	248百万
青年の家管理費	132百万
フレンドリーバス運行	19百万
運動公園管理費	104百万
武道館等管理費	77百万

【政策的経費】

別 紙

平成26年度 教育委員会の主な予算（案）

予算額[単位：千円]

【「福井型18年教育」の推進】

- | | | |
|---|------------------|---------|
| ㊦ 幼児教育支援事業 | (義務教育課) | 25,093 |
| 幼児教育支援センターを拠点として、幼児や家庭の教育力向上のための研修、調査、研究等を実施します。 | | |
| 事業内容 ㊦ 知育おもちゃを普及するためグッド・トイ広場を開設
保育所・幼稚園と小学校の円滑な接続のためのカリキュラムの指針策定・普及
保育所・幼稚園や家庭で気軽に学習できるワークシートの活用
童謡、絵本、伝承遊びなどの家庭教育ツールの普及 | | |
| ㊦ 小・中学校における学校・学級の適正規模化の推進 | (義務教育課、学校教育政策課) | |
| 小・中学校において、県独自の少人数学級編制等を引き続き実施し、児童・生徒の学力向上を図るとともに、小規模校の統合を推進します。 | | |
| 事業内容 27年度までに順次、小学校3年生、4年生の36人以上学級を解消 | | |
| 中高一貫教育校（併設型）設置事業 | (学校教育政策課) | 126,527 |
| 中高一貫教育校（併設型）の設置に向けて校舎の改修等を行います。 | | |
| 事業内容 高志高等学校の講義室、技術室、中高合同職員室等の改修 | | |
| 高校生学力向上推進事業 | (高校教育課) | 26,656 |
| 生徒による授業評価制度を充実し、教員の指導力をより一層向上することにより、学習指導・進路指導を強化します。 | | |
| 事業内容 大学進学希望者の学力向上を支援（特別講座、教材の充実等）
問題作成力向上チームを設置し、教員の問題作成力・分析力を向上
若手教員授業力向上塾を充実し、若手教員の面接力を向上 | | |
| ㊦ 英語力向上事業 | (教育庁高校教育課、義務教育課) | 61,709 |
| 英文和訳を中心とした授業から「話す」「聞く」ことを充実する授業への改善など、使える英語力を育成する教育を実践します。 | | |
| 事業内容 ㊦ 職業系高校の生徒向けに、「仕事で役立つオリジナル英語教材」を開発
㊦ 英語教育推進重点校の指定
教員の海外研修などによる指導方法の改善 | | |

【特色ある教育の推進】

- ⑨ 「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業 (学校教育政策課、高校教育課、義務教育課) 4,858
 本県にゆかりがある企業経営者等を「福井ふるさと教員」として任命し、社会での第一線での経験をもとにした授業を実施します。
 事業内容 「福井ふるさと教員」による授業
- ⑩ ふるさと教育推進事業 (高校教育課、義務教育課) 1,076
 中高生が福井の偉人の生き方等を学ぶことで、県民としての誇りを抱き、本県の魅力を発信できる人材として育てるための、「ふるさと教育」を推進します。
 事業内容 福井の偉人の生き方や考え方等を学ぶ教材を作成
- ⑪ 「白川文字学」普及・研究促進事業 (生涯学習・文化財課) 8,598
 白川文字学を活用した本県独自の漢字学習を研究し、学校教育で実践するとともに、その指導方法を県内外に広げます。
 事業内容 ⑫ 漢字教育を実践する教員等を表彰する「白川静漢字教育賞」の実施
 漢字教育アドバイザーの県外派遣
 教員の指導力向上を目指した「漢字指導者認定制度」の実施
- ⑬ 福井テクノロジーアカデミー事業 (高校教育課) 7,491
 理系の進学希望者を支援するため、高校生の先端科学技術分野の学習を充実します。
 事業内容 理科教員の専門性を向上するための研修
 ものづくり企業の技術者、起業家、科学者等による講演会
 グローバル企業や大学等での講義および実習を受講
 一流の科学技術者による特別講義
- ⑭ 芸術教育推進事業 (義務教育課) 8,770
 弦楽器や日本画を小学校から体験させ、小中学校での奏者育成や高校弦楽部のレベルアップを図るとともに、形や色彩等による表現の技能を育成します。
 事業内容 ⑮ 小中学校および高校の授業で日本画の製作を体験
 弦楽器クラブ等でのプロ奏者による技術指導
 小学校での四季に応じた童謡・唱歌の活用
- ⑯ 土曜日の教育活動推進事業 (義務教育課) 2,291
 外部人材を活用した質の高い土曜授業を推進します。
- 小学生による嶺南・嶺北交流事業 (義務教育課) 2,114
 舞鶴若狭自動車道の全線開通により、利便性が高まる嶺南・嶺北の間の小学生の相互交流をさらに拡大します。
 事業内容 小規模校同士の交流活動の実施

【教員の指導力の向上】

- ⑧ スマート教育推進事業 (学校教育政策課、高校教育課、義務教育課、教育振興課) 62,748
- 動画や音声など I C T 機器の長所を活かした英語の授業や本県独自の予習型授業を導入するなど、高校の授業内容を改善し、生徒の学力向上をつなげます。
- 事業内容 実践推進校においてタブレット端末を活用した新しい授業の実施
学習教材等をタブレット端末に配信するシステムの開発

【職業教育の充実】

- ⑨ 企業連携型地域産業担い手育成事業 (教育振興課・高校教育課) 75,516
- 職業系高校と産業界の連携を強め、社会のニーズや技術の進展に対応した教育を充実します。
- 事業内容 ⑨ 企業ニーズに基づく職業教育への助言
進路指導・求人開拓を行うコーディネーターの配置
企業の生産現場における実践的な実習の実施
難関資格取得のための講習会
生徒に対するキャリア教育など社会人基礎力の育成
企業現場の水準に応じた機械設備の導入

- 最先端のものづくり教育の推進 (教育振興課、高校教育課) 5,130
- 工業高校と工業技術センターの連携により、最先端のものづくり技術に対応した教育を推進します。
- 事業内容 全工業高校への 3 D プリンターの導入
工業技術センターと連携した教員向けの研修、生徒への実践教育

- 坂井高等学校の施設等の整備 (教育振興課、高校教育課) 1,670,378
- 坂井地区の総合産業高校として 2 6 年 4 月に開校する坂井高等学校のカリキュラムに合わせ施設・設備の整備を引き続き行います。
- 事業内容 工業実習棟の新築工事
専門教育に必要な実習設備・備品の整備
- 事業期間 2 4 ~ 2 7 年度

- 若狭・若狭東高等学校の施設等の整備 (教育振興課、高校教育課) 50,594
- 若狭地区の高校再編に伴い、若狭高等学校および若狭東高等学校の施設・設備の整備を引き続き行います。
- 事業内容 若狭高等学校 海洋科学科の調査研究備品の整備
若狭東高等学校 ビジネス情報科の商業実践室等の整備
- 事業期間 2 4 ~ 2 6 年度

【福井の教育発信等】

- ⑩ 福井の教育発信事業 (学校教育政策課、高校教育課、義務教育課) 1,976
- 福井型 1 8 年教育をはじめとする福井の高い教育力、授業力を日本のモデルとして全国に発信するため、公開授業やシンポジウム等を実施します。
- 事業内容 授業名人による公開授業の実施
大学教授の記念講演会等

福井県教育振興基本計画策定事業

(教育振興課)

1,100

今後の本県の教育施策の体系を明らかにするため、23年度に策定した計画の見直しに着手します。

事業内容 有識者による「福井県教育振興基本計画検討委員会（仮称）」の開催

【きめ細やかな不登校対策】**スクールカウンセラー配置事業**

(高校教育課、義務教育課)

97,930

臨床心理士等を配置し、いじめ・不登校等の児童・生徒の心の悩みに関する相談に対応します。

配置校 小学校（45校）、中学校（全74校）、定時制高校（全7校）

※ 全日制高校については、専任教員を配置

スクールソーシャルワーカー配置事業

(高校教育課、義務教育課)

15,354

社会福祉士等を配置し、不登校等の児童・生徒の家庭環境への働きかけを実施します。

配置場所 小中学校（全市町）、定時制高校（全7校）

※ 全日制高校については、専任教員を配置

【特別支援教育の充実】**㊦「ともに働く」就労応援事業**

(高校教育課)

7,898

特別な支援を要する生徒が行う企業実習でのサポートを充実し、地元企業や農業法人等への一般就労を促進します。

事業内容 ジョブコーチ（3名）による実習補助

ジョブサポーター（3名）による求人開拓

㊦ 福井県高校奨学給付金事業

(高校教育課)

40,737

高校教育の経済的負担を軽減するため、低所得世帯に対し給付金を支給します。

事業内容 給付金支給額 32,300円～129,700円（年額）

【こころとからだの健康づくり】**㊦ 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業**

(スポーツ保健課)

2,031

子どもの目と歯の健康づくりを推進します。

事業内容 子どもの目の健康プロジェクト事業

就学前の児童や公立小学校1・2年生に対して近視予防活動を実施

子どもの歯の健康プロジェクト事業

㊦歯垢染色剤を用いた歯磨き教室を、小学校1・2年生に加え、3・4年生までに拡大して実施

【子育てを応援する環境づくり】

放課後子どもクラブ応援事業

(義務教育課)

539,110

子どもが安心して放課後を過ごすことができる環境整備を支援します。

支援対象		通常の支援措置	県の追加支援措置
運営費	20人以上	県 1/3 国 1/3 市町 1/3	4年生以上または留守家庭以外の児童の受け入れ 1人あたり7.5千円(1/6相当)
	20人未満	なし	県 1/2 市町 1/2
整備費		県 1/3 国 1/3 市町 1/3	6年生まで受け入れる施設の新設(児童館除く) 県 1/2 国 1/3 市町 1/6

【耐震化の促進】

県立学校の耐震化

(教育振興課)

825,545

耐震補強計画策定、実施設計	丸岡高等学校 他	計3棟
耐震補強工事	科学技術高等学校 他	計3棟
天井落下防止対策工事等	藤島高等学校 他	計8棟

【競技力向上と県民スポーツ】

㊦ 競技力向上対策事業

(スポーツ保健課)

417,570

国体や各種スポーツ大会に向け、計画的に選手強化対策を実施し、ジュニア層から指導者までを育成します。

- 事業内容 ㊦ 専門指導者がいない強化校へ特別強化コーチを通年配置
 ㊦ 国体競技会場で強化練習を行い、選手間の連携などを充実
 ㊦ 日本代表選手などへの指導実績を持つ優秀なフィジカルトレーナー等を国体や強化合宿へ派遣

㊦ 県民スポーツ祭開催事業

(スポーツ保健課)

15,200

冬季も含めて気軽にスポーツ活動の実践や体験ができる場を提供します。

- 事業内容 ㊦ 有名選手とのふれあい運動会や各種スポーツ体験教室の場となる「スポーツファミリー体験フェスタ」を開催

㊦ 1県民1スポーツ普及事業

(スポーツ保健課)

6,319

「福井県スポーツ推進計画」に掲げる子どもの体育・スポーツ活動や1県民1スポーツの活動を促進します。

- 事業内容 ㊦ 中学校における国体種目を取り入れたスポーツ体験活動を実施
 ㊦ 地域で活動しているクラブに指導者を派遣し、クラブ指導者の資質向上を図り、質の高いスポーツを提供
 ㊦ 1日30分以上のスポーツ活動を促すふくいスポーツチャレンジによる1県民1スポーツの機運を醸成
 学校等で1日1時間以上体を動かす「アクティブワン活動」や放課後のスポーツ活動を実施

【競技施設の整備】

福井運動公園整備事業	(スポーツ保健課)	3,126,653
国体のメイン会場となる福井運動公園において、各施設の改修工事等を行います。		
事業内容 体育館の改築工事、陸上競技場の改修工事、水泳場の改築工事 野球場の実施設計 など		
県立体育施設の整備	(スポーツ保健課)	688,099
国体の競技会場や国体に向けた競技力向上を図るため、県立体育施設を整備します。		
事業内容 漕艇場の改修工事、ボートハウスの改築工事 クレ射撃場の環境対策に向けた改修工事 ライフル射撃場増設に向けた実施設計 馬術競技場の改修工事		

【子どもたちの文化体験の充実】

青少年体験活動施設整備事業	(生涯学習・文化財課)	201,481
小中学生の野外体験や長期集団宿泊を中心とした体験活動の場となる、芦原青年の家を整備します。		
事業内容 実施設計、建設工事、外構工事		

【教育文化施設のレベルアップ】

福井ふるさと文学館（仮称）整備事業	(生涯学習・文化財課)	596,217
県立図書館に「福井ふるさと文学館（仮称）」を整備し、県民が郷土文学に触れ、親しみを有する機会を増やします。		
事業内容 文学館の整備工事、展示工事 開館記念イベント等		

【文化財の保全・整備の促進】

歴史・文化のまちづくり事業	(生涯学習・文化財課)	31,111
地域の中核的な文化財の整備を集中的に進めることにより、文化遺産を活かした個性的で魅力あるまちづくりを支援します。		
事業内容 史跡等の保全・整備（白山平泉寺、羽賀寺、池田町堀口家、一乗谷朝倉氏遺跡） 重要伝統的建造物群保存地区整備（小浜市小浜西組、若狭町熊川宿）		

【新幹線の整備促進】

新幹線埋蔵文化財発掘調査事業	(生涯学習・文化財課)	185,049
新幹線の事業用地における埋蔵文化財調査を鉄道・運輸機構から受託して実施します。		
事業内容 福井市高柳地係等 事業期間 25年度～		

【「和食」を活かしたブランド戦略の強化】

㊦和食教育推進事業

(スポーツ保健課、義務教育課)

1,700

小中学校において、和食を取り入れたおいしい学校給食を導入するとともに、地場産食材や伝統工芸品の食器の使用を通じて、和食文化を守り育てる教育を推進します。

事業内容 学校給食における和食教育の推進

石塚左玄の「一物全体食」を活かしたメニューを開発・提供

主食が白ごはんの時にみそ汁を中心に汁物による和食給食を提供

小学5年生の家庭科実習で和食の基本「昆布だし」の取り方を学習